

四條畷学園大学ChatGPTなどの生成AIに対する本学の方針

令和5年8月1日

1. 基本方針

ChatGPTに代表される生成AIは、場合によっては強力な学習ツール、文章校正ツールとして活用できます。ただし、利用者本人に質問および回答内容に対する基本知識があることが前提です。また、質問入力した内容の情報漏洩の問題も指摘されています。このことから、学生の学習における利用は単語レベルの質問に留め、得られた回答については成書、文献などを活用して裏付けを得ることを基本とします。

2. 学生に対して

(1) 卒業論文/レポート課題など

- ア 基本方針に従って、調べものの補助ツールとしての活用は認めます。
- イ 生成AIが作成した文章そのものをレポートに用いることは禁止します。
- ウ 生成AIの文章の一部を利用した場合でも、「剽窃」とみなされ不正行為となることがあります。

(2) 実習中の利用

- ア 臨床・臨地実習中に得られた情報は個人情報を含みますので、いかなる情報についても生成AIを使用することは禁止します。

3. 教員に対して

(1) レポート課題など

- ア 課題名や内容の説明を少し複雑(長文など)にすることで、AIの回答を学生がそのまま転記することが困難になります。
- イ 学生の回答を生成AIが作成したものかを確認する「生成AIの確認ツール」の利用は不確実なため推奨しません。

(2) 授業中の利用

- ア 利用を制限しません。
- イ 授業中における利用ルールを定め、学生への指導を含めた対応をお願いします。

以上